

沖縄県における 臓器移植 (特に肝移植) について

琉球大学消化器・腫瘍外科 高槻 光寿



はじめに

臓器移植は、機能不全に陥った臓器を健全なものに置き換える治療であり、実際に臨床で行われているのは心移植・肺移植・肝移植・腎移植・膵移植・小腸移植の6臓器です。提供者の違いにより生体移植と死体移植(脳死・心停止)に分かれていますが、日本では脳死提供がなかなか進まず、専ら生体移植が肝臓と腎臓を中心に行われてきました。心移植だけは生体移植はできないので、海外渡航による移植が多く行われてきましたが、2008年に『各国は自国内で臓器移植を完結させるべき』とする、いわゆるイスタンブール宣言が発出され、本邦でも脳死臓器移植法が改訂されて2010年より改正法が施行されています。大きな変更点は、①臓器提供意思表示カード(免許証・保険証・マイナンバーカードへの記載やWEB登録も可)を所持しなくても家族の承諾で提供可能となった、②15歳未満の小児の提供が可能となった、の2点です。その後、徐々に脳死下臓器提供が増え、2025年は155名と過去最高の臓器提供数でありました。

沖縄県における臓器移植

沖縄県では、肝移植・腎移植・膵移植が行われています。心臓と肺は、保存時間がそれぞれ最大4時間・8時間程度と短く、県外からの搬送が困難であるために残念ながら沖縄での手術は現実的ではなく、本土の施設と連携して行われています。肝・腎・膵については保存時間が最大20時間程度なので、県外からの搬送も十分可能です。ただし、前述のごとく現在でも生体移植が主流であるため、生体ドナーのいない

方について脳死移植を検討する、というのが実情です。琉球大学病院は沖縄で唯一の脳死膵移植実施施設に認定されており、2025年に初めての膵腎同時移植を、1型糖尿病+慢性腎不全の症例に施行しました。

沖縄県における肝移植

沖縄県における肝移植は、2010年代から県立中部病院で生体肝移植が散発的に施行され、2020年より琉球大学病院で本格的に導入されて現在に至っています。執筆時点で琉球大学病院での手術数はちょうど50例となり、1年生存率は約83%と全国と同等の成績です。適応疾患はアルコール性肝硬変が最多で、全体の3割ほどを占めます。これは沖縄に特有なことではなく、かつて適応の上位であったウイルス性肝疾患、特にC型肝炎の治療の発展により、全国的に順位がすっかり入れ替わってしまった状況です。アルコール性肝硬変が移植適応(保険適用)であることは意外と知られておらず、治療をあきらめている患者や医療関係者が多いようですが、十分に術前評価すれば移植により根治できますので、まずはご相談いただければと思います。以上の生体移植での実績が認められ、2026年に脳死肝移植施設に認定され、同6月より登録可能となりました。これまでは生体ドナーが不在の方は県外に脳死移植を依頼していたわけですが、これで肝移植に関しては県内で完結できる体制が整いました。健常人を犠牲にする生体移植よりも脳死移植が主流であるべきであり、すでに行われている脳死膵腎移植と併せて、沖縄県における臓器移植のさらなる発展に向けて尽力してまいります。

おわりに

臓器移植、というと特殊な治療と思われがちですが、保険適用ですので、治療の選択肢として提示されるべき医療です。払う犠牲が大きいのは確かですが、命が助かるだけでなく、健康人と同等の生活に戻ることができる、極めて有効かつ強力な治療です。肝硬変などの肝不全、慢性腎不全で透析中の方、また1型糖尿病でイ

ンスリンに依存している方など、お困りの症例は臓器移植を念頭に置き、実施施設へ相談されることをおすすめします。くり返しになりますが、肝臓・腎臓・膵臓の移植は沖縄で完結できます。患者さんやご家族の身体的・経済的負担の軽減のためにも、ぜひ県内での治療をご提示いただければと思います。



お知らせ

沖縄県文化観光スポーツ部観光振興課からのお知らせ

おきなわ医療通訳サポートセンターについて

沖縄県では、外国人観光客の医療問題に対応すべく、多言語コールセンター（名称：おきなわ医療通訳サポートセンター）を開設し、医療機関向け①電話・映像医療通訳サービス②簡易翻訳サービス（医療機関向け）③インバウンド対応相談窓口（医療機関向け）をすべて無償で実施しております。

各医療機関におかれましては、是非、有効利用下さいますようお願い申し上げます。

【問い合わせ先】
「おきなわ医療通訳サポートセンター」
医療通訳サービス運営事務局
（受託事業者：株式会社 BRIDGE MULTILINGUAL SOLUTIONS）
☎ 0570-001-003

無料

24時間365日対応



① 電話・映像医療通訳サービス（26ヵ国語対応）

0570-050-232

② 簡易翻訳サービス（19ヵ国語対応）

okinawairyou-honyaku@bridge-ms.com

9時～17時・平日

③ インバウンド対応相談窓口

okinawairyou-soudan@bridge-ms.com
0570-050-233



←詳細はこちらからご覧ください

<https://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/kankoshinko/ukeire/iryoutuyakukorusentar.html>